

はもりあだより

Vol.1
2020.6

6月23日～29日は
男女共同参画週間です



「情報紙はもりあ」がよそおいも新たに
「はもりあだより」にリニューアルしました！

CONTENTS

- ◆ 活躍するキャリア女性インタビュー
～弁護士 森田 明美さん～
- ◆ [キーワード] 男女共同参画週間
- ◆ はもりあ四日市のご紹介



活躍するキャリア女性インタビュー

チャンスがあるなら思い切って飛び込んで！

弁護士 森田明美さん

2019年度、三重弁護士会初の女性会長を務められた弁護士の森田明美さんと現在、司法修習生として研修中の柏木悠香さんのお二人にお話を伺いました。



森田明美さん

愛知県出身。平成12年、弁護士登録。平成22年度から平成28年4月まで法テラス三重副所長。令和元年度、三重弁護士会会長。

弁護士を目指したきっかけは、何ですか？

森田さん：大学卒業後は、会社員をしていました。1年半くらい勤めましたが、不満があって、転職を考えた時に弁護士という資格があれば安心かなと思って目指しました。

転職を考えた先がいきなり弁護士だったわけですか？

森田さん：私の場合、兄が弁護士で、そういう職業を身近なところで知っていたというのが大きいですね。

柏木さんはどうですか？

柏木さん：私は、中学生の頃に女性が活躍しているドラマなどを見て、資格だったり専門知識を駆使して働いている女性がかっこいいと憧れて法曹を目指そうと思いました。

2019年度、三重弁護士会初の女性会長を務められた森田先生ですが、就任するに至った経緯や会長として進めてこられたことなどはありますか？

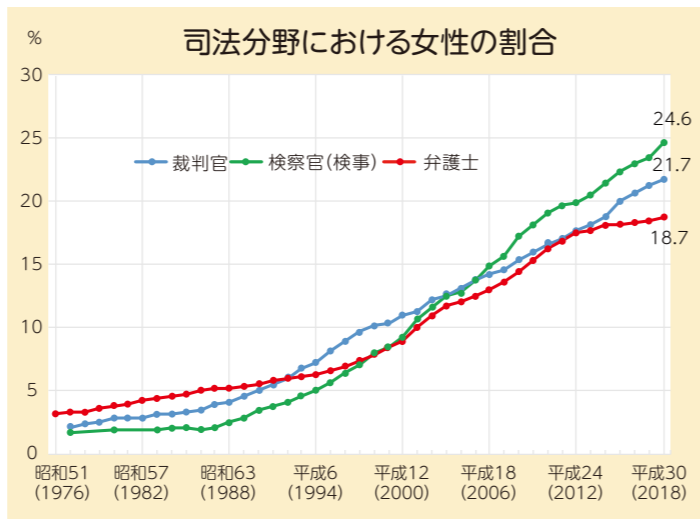
森田さん：三重弁護士会の会長は、ほぼ年功序列で回っています。私もそろそろ会長になる経験年数になっていたの、やるなら今かなと思い、立候補しました。そして、会長になって、自分がやってみたかったことをいくつか提案して実現することができました。

例えば、夜間や休日をできるだけ家庭やプライベートのために使えるように、慣習的に土曜日に開催されていた会議を平日に変え、平日時間外に開催されていた会議の開始時間を業務時間内に早めました。また、女性弁護士の考えを弁護士会の上層部にダ

イレクトに伝えられる場があった方が良かったので、執行部(会長、副会長)と女性弁護士との懇談会を初めて開催しました。

令和元年の内閣府の男女共同参画白書で法曹界における女性の割合は、弁護士(18.7%)、裁判官(21.7%)、検察官(24.6%)で弁護士の割合が1番低いのですが、そのあたりはどう考えますか？

森田さん：考えられる理由としては、裁判官や検察官は公務員であるということです。女性ですと、やはり出産や育児などがありますので、そういった時に身分が保障されていて、手厚い制度がある公務員は魅力的だと思います。一方、弁護士は自営業であり、頑張れば相応の収入が得られますが、休んでしまうと、途端に収入がなくなります。女性が弁護士を選択するには不安があるのかなと思います。私が注目しているのは、新しく弁護士になる人のうち女性は何割いるかです。私が弁護士になった約20年前は、女性は毎年25%くらいでしたが、今は20%台前半くらいですので、そうした数字からも弁護士は伸び悩んでいるように感じます。



男女共同参画白書 令和元年度(内閣府)をもとに四日市市作成

法曹界における女性活躍について、どうでしょうか？

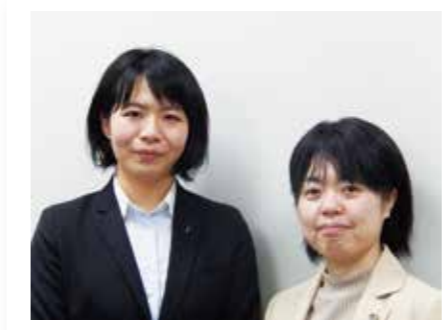
森田さん：日弁連では、意思決定の場にもっと女性を入れないと日弁連に女性の意見が反映されないということで、日弁連副会長に女性枠を設けるクォータ制を取り入れました。本当は自然に増えるのがいいのですが、なかなか難しいので。

三重弁護士会では、クォータ制導入には至っていません。都会と地方では、そもそも女性弁護士の人数が違って、地方では成り手が少ないのです。ちなみに、三重弁護士会では、弁護士会員数190人前後のうち女性は30人ほどです。しかし、そんな三重でも、私が会長になったように、意思決定の場に女性を入れようという流れにはなっています。

ワークライフバランスについてはいかがですか？

森田さん：弁護士は依頼者がいての仕事なので、依頼者の要望にすべて応えていたら24時間、365日仕事になります。けれど、弁護士も人間ですので、そんなことはできません。限られた時間の中でいかに依頼者の要望に応えていくのか、時間配分は常に考えています。

私は、平日は、朝を有効に使って、日中は



(左)柏木さん、(右)森田さん

依頼者優先、夜は早く切り上げ、土日は、書類作成をすることもありますが、できるだけ休んでメリハリをつけるようにしています。

最後に次代を担う世代へメッセージをください

森田さん：何かのポジション



休日にスポーツ観戦に行きました

についたり、組織の意思決定の場に加わったりするチャンスがあるのなら、チャンスを生かして、その立場なり、世界へ飛び込んでほしいです。

能力の高い女性は大勢いるのに、その能力を活かし切れていない人が多い印象があります。きっとその女性にとっても、会社や組織にとってもプラスになると思います。私も会長の話が出た時、自分がやって良いものか、正直迷いました。大きな役職の経験がなかったので戸惑いました。しかし、思い切って会長をしたことで、今まで知らなかったことを知り、経験したことがないことを経験できて、自分にとってとてもプラスになりました。飛び込んで良かったと思います。

これからの抱負を教えてください

柏木さん：私は、ワーク・ライフ・バランスを保って、楽しみながら仕事をしていきたいと思っています。苦勞することもあると思いますが、将来、振り返ってみた時に、この仕事をやってきて良かったと思えるようにがんばりたいと思います。

キーワード



男女共同参画週間

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日が平成11年6月23日であることにちなみ、毎年6月23日～6月29日は、男女共同参画週間とされています。この期間、「男女共同参画」について理解を深めてもらうことを目指して、さまざまな取り組みが行われています。四日市市では、三重県内の市町が連携して開催される「三重県内男女共同参画連携映画祭」に参加しています。今年度は9月27日(日)に開催を予定しています。詳細が決まり次第、お知らせしますので、ぜひご参加ください。



はもりあ四日市のご紹介



市や市民団体が企画する講座やイベントなどに参加することで、男女共同参画について分かりやすく、気軽に学ぶことができます

情報紙の発行、男女共同参画に関する図書の出し出し、チラシやパンフレットを作成して、情報を提供しています

学び

情報

女性のための電話相談や男性のための電話相談、働く女性、働きたい女性のための就労相談など、悩みや困りごとを相談することができます

センターの登録グループに、会議室や調理室などの部屋を貸し出ししています。また、コピー機や印刷機なども、ご利用いただけます

相談

施設



四日市市男女共同参画センター はもりあ四日市



〒510-0093
 四日市市本町9-8 本町プラザ3階
 開館時間 9:00~21:00 (日・月曜日・祝日休み)
 【TEL】059-354-8331
 【FAX】059-354-8339

【Eメール】 kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページは…

